

グリーン経営認証取得の成果の紹介

認証取得後1年目の定期審査時のアンケート項目「特に成果のあった取組」について寄せられた皆様の声をご紹介します。(2024.01~2024.02)

【バス事業】

内容
一時期、燃費向上はあったものの、最近伸び悩み傾向にあるが、マンネリ化にならぬよう試行錯誤しながら取り組みたい。車両故障は減少傾向にある。(予防整備) 事故件数も依然と比べ減少している。
・現在、大幅な燃費改善の結果は残せていないが、エコドライブ推進担当者が各車両の毎月の燃費を把握し、研修時に乗務員へ燃費実績やエコドライブについての情報提供を行うことで、会社全体で燃費向上に対する意識向上につながっている。
・「グリーン経営認証を取得している会社だから・・・」と貸切バスの見積り依頼が2回程あった。(満車や営業区域外の運行でお断り)
数値上効果のある取組みは現在できておりませんが、社員の環境に対する意識が少し向上したと感じております。
環境保全に関する教育を事務職、運転職、整備職の従業員に対して実施することにより、日々の乗務や整備作業等における一人ひとりの意識向上が見られました。
各車両ごとの燃費表を営業所に掲示し、乗務員へ見える化するにより、エコドライブの意識向上。

【タクシー事業】

内容
ハイブリッド車を予定以上に導入した為、燃費が向上した。
節電・節約・ゴミの分別・リサイクルなどエコロジーに対する意識を持つようになった。低燃費・低公害のタクシー車輛(JPN TAXI)への代替が、当初の予定よりかなり進めて導入できた。
本認証取得をきっかけに、低公害車の積極導入を社内的に推し進めることができた。それにより、お客様から環境負荷を抑える取組を行っているということで評価頂いた。

【港湾運送事業】

内容
電気・燃料使用量の削減だが 燃料費の高騰、節約の呼び掛け、ポスターの活用により各従業員が節約を意識するようになり事務所内の不要照明の消灯やエコドライブ、不要書類のリサイクルなどを心掛けるようになった。
継続して従業員全体のゴミ排出の軽減を意識し、節電に努めている。

【内航海運業】

内容
1、燃料消費量の改善 燃費の削減目標を設定し、減速航行の励行・最適ルートを選定を意識づけ、出来ることを実施することにより、燃料消費量を認証取得以前から比較して、10~5%削減し、維持継続している。
2、発生廃棄物の抑制 廃棄物の量を記録するようになり、廃棄物の発生量を把握することにより、各自が自主的に抑制を心がけ、小さいことではあるが、消耗品の買替などは、積極的に詰替え用の物を購入する等、積極的に廃棄物の抑制に努めている。

【トラック運送事業】

内容
デジタコの導入もあり、燃費の向上が見られる。運転の仕方などの指導もできるので
経営会議や社員教育・研修会、初任講習などでの会社の姿勢と社会的責任や「優良企業イメージ」アップなどに役立っています。また、燃費の向上や優秀ドライバーの表彰、車輛の整備管理の向上にも役立っています。
ドライバー自らが日々燃費計算を行い記録するとともに、車ごとの燃費を毎月集計しグラフにより毎年同時期との比較を掲示することで、ドライバーのエコ運転への意識が少しずつ向上してきています。認証取得後の件数は低くなっているものの、対象期間が10ヶ月間でありその点を考慮すると微減程度と感じます。しかしながら全体的には確実な点検整備の実施により故障の予防・早期発見にはつながっているものと考えます。
ドライバーが自ら日々燃費計算を行い記録するとともに、車ごとの燃費を毎月集計しグラフにより毎年同時期との比較を掲示することで、ドライバーのエコ運転への意識が少しずつ向上してきています。件数は減少しており確実な点検整備の実施による故障の予防・早期発見の効果の現れかもしれないと考えます。事業所として2年あまり有責事故は発生しておらず貴い事故についても稼働に影響を及ぼすものはありませんが、エコ運転は丁寧な運転操作を意識させるもので結果的に安全運転につながっているものと考えます。
車両1台ごとの燃費を毎月掲示することで、ドライバーの意識が変わり燃費の向上に繋がった。
インジェクタークリーナーを定期的に注入することにより、DPR再生などのトラブルの減少がありました。また日野のトラックに関しては、エンジンオイルの品質をハイグレードにしてオイル交換時期を70,000 kmに延ばしメンテナンスの回数が減り年間の車両コストの削減ができました。
燃費に関してグリーン経営取得後、乗務員が日々意識を持つようになり常に一定の成果が得られています。
昨今の燃費高騰への対応策としては、とても効果があった。しかしまだまだ厳しい現状であるので継続していくよう努力してまいります。また、荷主への運賃交渉にも可視化できる燃費表は役に立ちます。
①車速を設定（一般道60km/h 高速道80km/h）し乗務員に徹底しております。②エコドライブを行うようになり、ふんわりアクセルを踏む人が増えタイヤの段べりが減少しました。
タイヤ圧の管理・今まで大雑把な管理だった分効果が大きかった。
点検整備についての意識が向上した。整備についての知識が増えた。
燃費に対する目標が明確になり、目標達成に対する意識が向上した。
エコドライブの推奨により燃費の向上が進みつつある。
燃費向上に効果がありました。データを基に比較し燃費の悪いドライバーへの教育、指導が適切に出来るようになりました。毎月の燃費を掲示することにより、各自が燃費向上を意識するようになりました。
社内での車輛入替に対する意識の向上と動機付けに効果を感じました。管理職全体の意識統一には時間がかかるように感じました。
・燃費向上・ドライバーの意識向上が特に成果のあった取り組みでした。今後もさらに向上できるよう全員で取り組んでいきたいです。
環境改善の努力を行っていることをホームページ等で公表することにより、環境問題への取り組み意欲の向上を図り物流業界及び東京電力グループにおける環境負荷低減に繋げることができる。
新人教育の際、燃費向上の一環として早めのシフトアップを添乗指導している。急発進・急加速ではなく一定の速度で運転する事と減速は早めに行う事で気持ちの余裕が生まれ、交通事故の防止と省エネ運転にも繋がると教育をしている。
特に成果があったのは、交通事故件数や、車輛故障件数の減少となる事から、それに結びつくドライバーの意識の向上が、一番の成果となります。
長く続けていくためにも、毎年新鮮なアプローチにより、社員がマンネリにならない様にする事が大切だと考えています。

<p>運転手が始業点呼時に安全決意宣言（当日の危険ポイントを宣言）することにより、安全意識が向上して、交通事故件数が減少した。</p>
<p>燃費ランキング表を継続していると、ドライバーが、軽油を入れたら、直ぐに燃費を計算をし前回の燃費と比べるようになった。</p> <p>ドライバー同士、走り方の話をするようになった。</p>
<p>ドライバー自身も燃費・オイル交換・エアクリーナー清掃・交換・黒煙・エアコンの状態・タイヤの状態 等について気にかけるようになった。</p>
<p>安全運転講習を通じてエコドライブの取組みを行っているが、安全を担保する運転と車両整備に対する内容を都度盛り込むことで、運転方法だけでなく車両整備に関する意識も以前よりは醸成されてきております。</p>
<p>①新車への更新が進んだ。②車両管理体制の構築に役立った。</p>
<p>エアフィルター清掃、交換、エンジンオイル、エレメント交換等、整備基準を策定し、それに沿って実施することにより環境保全、車両故障減につながった。</p>
<p>事務所内での環境保全の取組みについて、特に不必要な照明の消灯・空調機器の適正温度設定・コピー用紙等の紙使用量削減が徹底してきている。</p>
<p>乗務員との点呼時にデジタルタコグラフで表示される燃費の数値を確認しあうことで、燃費向上を常に意識するようになり、実際に数値も向上している。</p>
<p>極力アイドリング時間を削減したところ、大型車の燃費向上に繋がりました。</p>
<p>エコドライブに対する意識の向上は、燃費の改善につながりました。取得して数年経ちますが、慢性化することなく、新入社員にも伝えられております。一昨年度は、メーカーの納車が滞り、大きな燃費向上は見られませんでした。昨年度は新車（低公害車）が納車され、燃費の向上につながりました。運送業界にとっては、大変な時期でもあります。積極的な低公害車の導入は環境及び更なるドライバーのモチベーションの向上に貢献していると感じております。</p>
<p>エコドライブチェック表を毎日記入していることで、乗務員の意識向上につながっている。お客様にも評価をいただき、弊社を選んでいただける一つのツールとして活用している。</p>
<p>出発点呼時にエコドライブの重要性を伝え、燃費向上への意識付けを行い、優しい運転ができるようになり、運転マナーが向上しました。</p>
<p>従業員が燃費を意識するようになった。</p>
<p>各自の、デジタコ点数・燃費ベンチマーク達成に向けた意識向上から、安全・経済運転を目的とした、社内表彰式での受賞対象者が増加傾向にある。</p>
<p>ドライブレコーダー・デジタルタコグラフの装着に伴い、ドライビングの癖・急ブレーキ・急発進・車線変更などによる、事故・燃費向上・運転クレーム対応についての個別指導を行うことができた。</p>
<p>①車輛故障件数の減少で輸送効率が向上し貨物の遅延が皆無になった ②職場環境活性化・士気向上により発送品質が向上し荷主から評価を得ている ③お客様との取引時に良い参考資料になっている</p>
<p>整備を入念に行うことで故障等トラブルの減少、修繕費用の削減にも繋がっていると感じます。</p>
<p>燃料代の高騰により、少しでも経費の削減ができています。グリーン経営のマークがあればお客様にアピールできる。</p>
<p>環境に配慮した具体的な行動や目標を設定し、定期的に乗務員やその他の社員を教育することで、環境意識の向上が図られとても役立っております。また顧客から環境への取組みについて問われた際に、グリーン経営認証を取得して活動していると説明したところ、顧客から評価を頂きました。</p>
<p>燃料高騰につき、高速道路の速度を85 kmに制限しています。それにより車種によたら燃費の向上が見受けられました。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・年度別の誤差はあるかと思いますが、交通事故件数は減少傾向となっています。 ・環境面への取り組みと相まって、車両の美化（洗車）に繋がっており、同業他社や荷主から車両を常にきれいな状態に維持しているため、荷物の運送も安心して任せられる、という言葉を目にする。
<p>エコドライブ指導教育により、重大事故ゼロが継続出来ている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・毎月車両ごとの省エネランキングを各事務所に掲示し、燃費の変化が見える化した結果、各人の意識向上につながった。 ・グリーン経営認証取得により、環境に対する能動的な取り組みを行っている会社として、社外（特にお客様）にアピールすることができた。 ・エコドライブ活動の取り組みをエコドライブコンクールの提出し、優良賞を受賞した。 <p>認証取得後に1台増車があつたにもかかわらず、件数は減少している。減少傾向が見られるが、依然として多い件数で推移している。</p> <p>認証取得前に1件接触事故があつたが、その後は交通事故が発生していない。グリーン経営認証の取り組みにより、乗務員の意識の改善が見られた様感じられる。</p>
<p>燃費の向上に関して、従業員同士がお互いに競い合い、声を掛け合い気持ちの面での向上があつたと思います。朝の点呼時に、社員各自の取り組み方法などを紹介するなど事例紹介を行いました。</p>
<p>燃費向上させるため、速度低減、車間距離保持、アイドリングストップに取り組んだら、車輛故障の減少、交通事故の減少、燃費向上につながった。デメリットは時間が少しかかるだけで、あとは全てメリットがある。</p>
<p>デジタコの走行データを基に安全性・経済性を評価し、ドライバー別総合ランキングを掲示する事により、経済速度による運行・急発進・急加速・回転数の制御などを心掛けるドライバーが増え、無事故・燃費の向上に繋がった。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・従業員のエコドライブに対する取組が、車間距離を取ることで、追突事故等の交通事故減少となっている。 ・点検整備に対する取組が強化され、車両故障の減少に繋がっている。 ・車両点検・整備記録に伴い、事業所車両の管理がしやすくなった。
<p>チーフリーダー・リーダーによる部下への安全運転等の指導、指示、注意喚起の声掛けが率先に行われ職場の活性化及び士気が向上した。</p>
<p>乗務員同士で省燃費運転の意見交換を行ったり、車両の装備や運行計画の見直し提案をする姿を見る機会が増えており、従業員の士気向上に成果がでていることを実感しております。</p>

【倉庫業】

内容
<p>グリーン経営に関する日々の取り組みが、業務及び施設の5S活動強化と、また、勉強会の開催により社員の省エネ意識の向上に繋がっており、更なる「見える化」の徹底により節電と環境保全対策、職場環境の改善ができた。</p>
<p>社内活動の中で特に成果が上がつたと思われる事は、使用していない部分の照明を消す事を徹底して周知し従業員一同が意識を持って取り組んだ事です。</p> <p>最後の荷下ろしをエレベーターで下ろす際には中の照明を消す事で最後の荷物という事だけではなくエネルギーの削減にもつながり小さい事ではありますが地球温暖化防止に役立つことが出来たと思います。</p>
<p>グリーン経営に対する意識向上の一環として、各自が自主的に下記項目を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気の消し忘れが多い箇所にセンサースイッチを設置し消し忘れを防ぐ ・ゴミの分別強化を図る為に、ゴミ箱への識別表示を実施。朝礼・安全衛生委員会・職場集会等を利用して注意喚起を実施 ・ラップリサイクルへの強化を図る（不良なラベル等を排除しリサイクル率を上げる）

<p>設備機器の定期的な点検メンテナンスへの意識付け、GREEN教育による環境意識の向上 本牧営業所については、新規事業で自動選別機ラインを導入した為 電力使用量が増えたが、機器は最新機器を採用しており、使用電力を極力抑えている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・2016年に冷凍庫内の照明を458台LED化による電力使用量の削減。 ・2014年に冷凍機の脱フロン化工事を実施。スケジュール運転など実用性も向上した事により 電力使用量の削減に大きな成果を得た。
<p>節電することを心掛けることで、自動倉庫の照明を使用しないときは消灯するなど節電に対して意識を向けられるようになった。</p>
<p>ごみの分別を徹底し、廃棄物の減少・リサイクルが出来ています。</p>
<p>電力量削減の為、不要な照明を消灯する等、節電に対する意識が向上した。</p>
<p>グリーン経営の取り組みにあたって、電気使用量と廃棄物排出量は特に従業員の関心が高く、節電、廃棄物の抑制に繋がっています。節電に関しては省エネ機器の導入、不必要な照明の消灯を実施。廃棄物に関しては古紙、プラスチック類や木くず、金属くず等の分類をし、一般廃棄物、産業廃棄物と有価物を綺麗に分けて排出することに努めています。</p>
<p>従業員が廃棄物処理に対して進んで取り組む様になった。(仕分け・減少など)</p>
<p>不使用箇所の消灯、クールビズ、ウォームビズ等の各職場での実施に効果があった。</p>
<p>職場の活性化や従業員の士気向上 グリーン経営において教育をすることにより、従業員一人ひとりの普段の仕事のなかで環境負荷の低減に対する意識の向上に繋がっている。</p>
<p>会社として、省エネの推進・廃棄物の減少推進・ワークライフバランスの意識向上を行っている</p>
<p>使用電力削減への取り組み・クールビズ、ウォームビズの推進 ・昼休み時の消灯</p>
<p>廃棄物等数値化及び環境関連法規制を遵守し適正な管理を行う事により職員・作業員の環境改善の意識を高める事ができた。事務所及び現場で注意喚起ポスター等の掲示を行い、見える化する事で、エコマーク製品等の優先、不必要な照明の消灯で深刻化する大気汚染や地球温暖化などの地球環境の悪化を防ぐ事に、職員・作業員全員で取組めた。</p>
<p>照明器具がまだLEDになっていなかった箇所のLED化を進めた。 倉庫内の空調機の更新にあたっては省電力型の機器を導入するとともに空調温度の徹底を図り、電気使用量の削減を実践した。また廃棄物の分別を徹底し、リサイクル可能なものは出来る限りリサイクルを進めた。 購入に当たっては、まず第一にエコ商品を検討するようになった。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物発生量の抑制を目標として実施計画に織り込んで取り組みしており、毎月、毎月の発生量を全員に共有化、削減するためのアイデアなどを出し合って抑制出来ている